

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2015年9月号《No3》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

民衆はイエスに言った。「先生、この女は姦通をしているときに捕まりました。こういう女は石で打ち殺せとモーセは律法の中で命じています。ところであなたはどうかお考えになりますか。」イエスは言われた「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい。」これを聞いた者は一人また一人と立ち去り、そして誰もいなくなった。

ヨハネによる福音書7章6節_8節

主題

国際会長	Wichian Boonmapajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K. W. Ong	「愛をもって奉仕をしとう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

8月の出席率80% 在籍者11名 出席者9名 メネット1名 ゲスト6名

モンゴルウランバートルクラブ応援訪問ツアー

宮内 友弥

6月24日から6月28日まで4泊5日でウランバートルクラブ応援訪問ツアーを実施しました。参加メンバーは総勢7クラブより15名。到着翌日の6月25日ウランバートルから車で約1時間のアルグンテ

区にあるモンゴル YMCA の新設 Ger Camp にて Camp の開所式に参加しその後会長 Mr. Javkhlantugs Ganbaatar(モンゴル YMCA 理事長兼務)他クラブメンバーと食事をしながら満天の星空の下で歓談。東京武蔵野多摩クラブより Ger Camp Project 支援金を、また参加者一同よりお祝い金を贈呈、当日はファーストゲストとして Ger に宿泊しました。なお京都アジア大会ユースコンヴェンションに招聘する Mungunbat 君とも 6 月 27 日に面談し打ち合わせました。

オープニングセレモニー

渡辺 大輔

Y Service Club of Ulaanbaatar のチャーターより、早 9 ヶ月。

Y Service Club of Ulaanbaatar 応援ツアーが 2015 年 6 月 24 日～29 日行われました。ツアーには総勢 13 名。多くの皆さまに参加いただき、誠にありがとうございました。

多くの日本人の方に来て、見て、感じてもらいたく思っていました。

6 月 25 日には、エコプロジェクトのキャンプ場のオープニングセレモニーが行われました。

当日は、お昼前に現地 Ger Camp に到着し、午後からは地元の有志によるミニナーダム祭（国体やスポーツ大会のようなもの）が開催されました。

詳細については、すでにサンライズクラブの長津さんがすでにプリテンに書いておられますし、他の参加なさった方々も今後書いてくださると思いますので割愛しますが、本場のモンゴル相撲はとにかく迫力満点でした。日本における相撲よりも地域に浸透しているように思えました。

夕刻より約 10 名の Y Service Club of Ulaanbaatar のメンバーと合同で、Ger Camp プロジェクトのオープニングセレモニーが開催され、日本からの支援金の授与式、テープカット、記念撮影と式はしめやかに行われました。



オープニングセレモニーの最中には、今回新たに Y Service Club of Ulaanbaatar に入会した 3 名のために入会式も執り行われました。

水も無く、電気もなく、しかし夜は満天の星空のもと、まだそんなに大きなキャンプ場ではありませんでしたが、本当に今後に楽しみなキャンプ場でした。

トイレも、周囲は壁で覆われているものの穴を掘ってある上にプラスチック製の便座が置いてあるだけと言う、現代の日本でもまず見ることのできないレトロ感満載なトイレでした。

また、この会場はとにかく虻がひどく、大きな口開けてはなそうものなら一瞬で口の中に数匹入ってきしまうくらいの勢いで、虻以外にもバッタなどたくさんの虫達との一泊となりました。

今回、モンゴルでは 6 月でサマータイムということもあり 23 時ころまで日が出ており、不思議な感覚でした。（サマータイムのため、日本との時差も無かったです。）

今回参加できなかったみなさまも是非次回の応援ツアーの際は、ぜひ御一緒しましょう。

8月松本クラブ合同例会の様子

日 時 7月25日13時 場 所 原村・こひつじ幼稚園

開会 点鐘 松本クラブ 飯島会長 閉会点鐘 武蔵野多摩クラブ 宮内会長

ゲスト タンポポクラブ 服部会長 藤江ワイズ 標 部長夫妻 部会計小倉ワイズ夫妻

小林前井戸尻考古館館長 長川上さん木坂メネットの妹さん こひつじ幼稚園中村園長と先生方4人

部長公式訪問 あずさ部 標 克明 部長 卓 話 前井戸尻考古館 小林 公明 氏

聖書・祈祷 山口ワイズ 司会 松田ワイズ 受付 伊佐・野尻ワイズ

終わるとすぐ来年が楽しみになる合同例会。新部長の思いとメンバーの近況報告にあわせて、卓話から自分に対する厳しさがものの見方、価値観が決まることをと学んだ。

標あずさ部長「話によるとこの例会は楽しい上にこひつじ亭の特別料理がふるまわれるようで、今日は肩の力を抜いて、お願いだけに来ました。私のモットーはブリテンにあるように「ワイズメンとして一歩前進」です皆さんセーノで一歩前進しましょう。(この一歩は好奇心だ!)

小林前井戸尻考古館館長 温暖化、異常気象と騒がれているが、5千年まえに鹿児島沖で噴出物が仙台まで届く大爆発と異常気象で平均気温2.5度上昇し地球上の水位が6メートル上がった、東京湾は群馬県藤岡まで入っていた。人々は諏訪湖八ヶ岳を中心に松本盆地にかけて移住し日本有数の文化圏が発達3千年続いた、縄文時代のことです。土器の装飾模様は顔・蛇・かえる・龍・・・ギリシャ神話と共通する器の働き以上ものを感じます。この意味することは今日の科学的世界観では決して分かりません、国家成立以前、文字を持たない神話の時代です。祖先たちの太陽観月観です。私たちはそれを感じ取ろうと願っています。

昭和33年井戸尻で大量に豪華に纏まった土器群が発見されそれを守ってきたのは一人の考古学者を中心に在野の農民と教員といった大学の考古学とは無縁の人々でした。(ここでこひつじ亭特別メニュー賞味時を逃さぬためいったん休止)

メニューは師匠を招いて3回の講習を授けて試みた特性麵とシメジ・鶏・豚等々で練り上げられた付け汁。初めての味わい!。園児たちと育てた枝豆を練りこんだ白玉等々にあわせ、松本クラブ赤沢さん手製の漬物、正木さんのシュホンケーキ、松本クラブ中野さんからのスイカ等々仲間の思いと幸せを胃袋いっぱい詰め込んで卓話に戻って土器復元の話。復元には上手下手があり本質を見抜く心の目が必要です。学とか決め事を第一にすると本当の姿を見失います。本物を直に見ること意外にその方法はありません。(縄文人にあこがれ彼らの太陽、月、生き物観で見れば、模様の意味も感じ捕れるということか)

土器の破片はそのあった場所にかたまっています。先ず水洗い特に小口を丁寧に荒い陰干し。

次にジグソーパズルのように合いそうなものを四つのグループ分ける、土器は尻つぼみ型をしているので扇型が四つ出来る。大きいものから小口をセメダインで手早くつける、失敗して何度も試みると小口があれてしまう。セメダインを使うのは後々再復元の機会に溶かしてばらしやすいからです。

出来たパーツを一気につなぎ一体化し麻縄で縛る。最後に欠落している穴を歯科技工師が使う焼き石膏をつめ補てんする、この補てんの材の作り方にコツがあり適量の焼き石膏に最小量の水を加え練り上げる。このやり方で復元された井戸尻考古館の土器は復元後60年間そのまま変化していない。

ところが専門書は逆に水に石膏を溶いて創るとなっており文化庁もそれを採用しているが経年変化か崩壊する。そのためか解体再復元を文化庁指定業者に行わせているが化学剤に浸しつやまで出るなど本質から離れるミスが目立つ。文化庁は再解体復元の工程を受け入れなければ重要文化財には指定しない。語る小林氏の搾り出す土器を通して神話時代の本質を求めのおもいが響いてきた。

後近況報告、幼稚園の先生方の懇談など会の終わるのをわすれた。

<西東京 YMCA 便り>

村山 達哉

暑かった夏でしたが、近頃は少し涼しさも感じられるようになり、早くも秋の訪れを感じておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。あっという間に、この夏のプログラムも終わろうとしています。たくさん子どもたちや、障がいのある方々が YMCA に集いましたが、各プログラムの中で、短いながらも、実りある時間をボランティアリーダーと共に過ごせたのではないかと考えております。

夏のプログラム準備が始動するのは 5 月の中頃です。この夏もたくさんのボランティアリーダーたちが YMCA に集い、各プログラムに向け準備をしておりました。今、それぞれにプログラムを終え、充実感とともに、様々な思いや感情を抱えていることでしょうか。準備の段階から、プログラム中に、そしてプログラムを終えて、楽しさだけではなく、悔しさを感じ、様々な場面で悩み、人との関わりの中で様々な悩みや感情を積み重ねて、少しずつ、一步一步成長していく・・・それが YMCA のボランティアです。そして、プログラムに参加する子どもたちは、そんなリーダーや仲間と共に悩み、共に笑い、たくさんの価値観に触れられるような関わりの中でこそ、成長していけるのだと考えています。

この夏の体験が、参加した子どもたち一人ひとりにとって、またボランティアリーダー一人ひとりにとっても、生涯に残る貴重な体験となることを願っています。

秋には様々なイベントも開催されます。随時お知らせいたしますので、お楽しみに。今月もお支え、よろしく願いいたします。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- | | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8/31-9/2 | オール東京リーダーズキャンプ@東京 YMCA 山中湖センター |
| 9/5 | オール東京一斉街頭募金@新宿 |
| 9/6 | 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」9月例会
発達障がい児 グループ活動「Smile」9月例会 |
| 9/11-13 | ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム |
| 9/13 | 幼児野外活動「にこにこ」9月例会
小学生野外活動「ロビンソン」9月例会
知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いつみの会」9月例会
国際協力街頭募金（例会後、三鷹駅にて） |
| 9/23 | 第 29 回インターナショナルチャリティーラン |
| 9/27 | 秋の山中湖キャンプ打ち合わせ会 |

<お知らせ>

9月ハッピーバースデー 宮内ワイズ '45.9.23 山口メネット 9.2 井口ワイズ 38.9.2

9月例会 YMCA 西東京センター 9月9日 19時

卓 話 グアテマラのマリンバ

元住友商事グアテマラ所長、グアテマラ・マヤ文化協会理事 板村 哲也氏
司 会 伊佐ワイズ 聖書祈禱 小坂山メネット 受付 石丸・山本ワイズ